

長土地区
 から こんにちは
 今月の 気になる人



南国中央支所管内より

毎日楽しく!
おおりともつぐ
 大利 奉継さん(44)

ハウス約100アールと露地50アールでニラを栽培する大利さん。作業は両親を含めて6人で行っています。

平成27年度から外国人も雇用しており、「雇用している人たちの生活を守るためにも、天候を先読みして仕事の段取りを考えることが重要」と語る大利さん。「先人が作ったものを形が変わっても残していきたい」と今後の目標を話します。

れいほく支所管内より



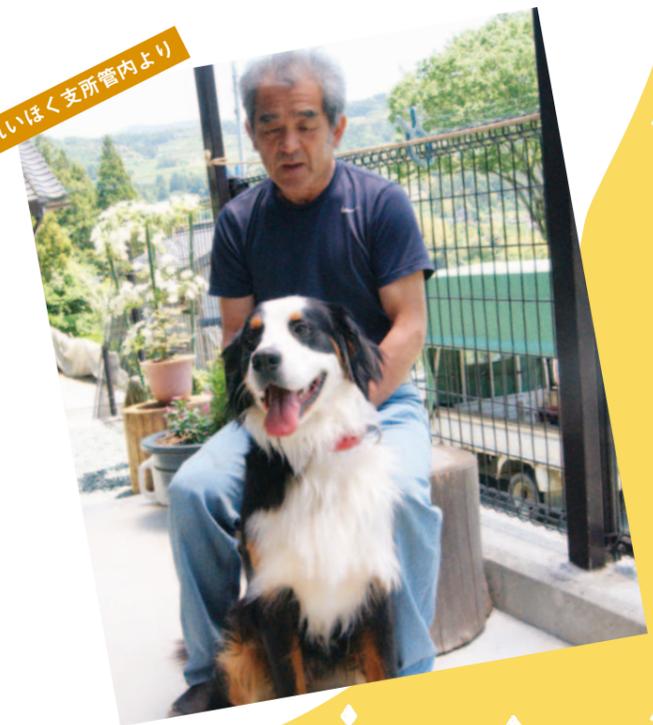
3人仲良く元気に!

- (左) たなかめい 田中 愛莞ちゃん(8)
- (右) しゅうと 嵩人くん (6)
- (中) えま 愛菜ちゃん(9カ月)

いつも仲良しな3人きょうだい。3年生の愛莞ちゃんはとても面倒見がよく、学校帰りには今年1年生になった嵩人くんのランドセルを持って帰ってくれるそうです。嵩人くんは、自宅で飼っているたくさんの金魚のお世話を手伝ってくれる優しい男の子。愛菜ちゃんは、離乳食でお米を食べるのが大好きです。

両親からは「ケンカをすることもあるけど、3人仲良く元気に大きくなってもらいたいです」とメッセージです。

れいほく支所管内より



我が家のアイドル

- ハルちゃん (メス・1歳)
- うえた はつお
 飼い主：上田 初男さん(63)

土佐町で妻のたか子さん、息子の裕介さんと水稲250アール、花き60アールを栽培する上田さん。愛犬・ハルちゃんは、平成30年2月8日生まれのバーニーズマウンテンドッグです。昨年4月から飼い始め、取材の時に元気な鳴き声で出迎えてくれました。

色白の長い脚が特徴で、甘えん坊で優しい性格。現在、体重32kgのハルちゃんは力が強く、「散歩のときはリードを押さえておくのが大変!!」と話したか子さん。今では上田家には欠かせない大切な存在になっています。

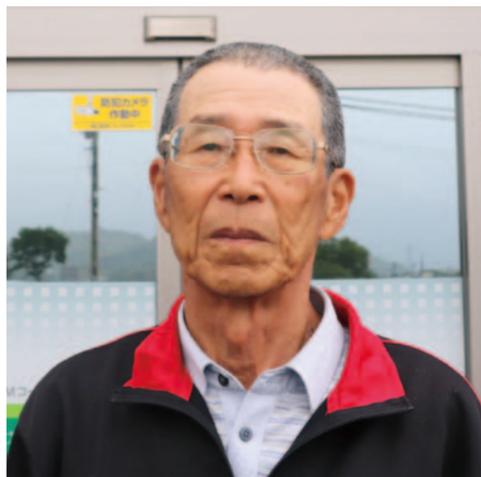


十市支所管内より

今年は干しブドウを頑張りたい
とみま
 土居 美真さん(64)

夫婦でブドウ園を営む土居さんは、80アールの面積で13品種のブドウを栽培しています。最近は規格外のブドウを有効活用したいと、常連のお客さんに勧められた干しブドウの加工・販売に取り組んでいます。

96時間乾燥機にかけて水分を飛ばしたブドウは味付けを一切しないため、本来の味を楽しめます。現在は、安芸クイーン・ピオーネ・雄宝の3品種を展開。「今後は新しい品種にも挑戦したい。人との出会いはとても大きい」と優しい笑顔で微笑みます。



岡豊支所管内より

仲間とともに生涯現役
たかはし あきお
 高橋 昭夫さん(74)

八幡南地区で平成10年頃から運営委員を務める高橋さん。これまで全農高知県本部OBとして、購買事業や販売事業などJA職員と連携して目標達成に努めてきました。現在は運営委員長として、「支所職員と共に歩んでいきたい」と語ります。

趣味はシニアソフトボール。「高知ホエール」に所属し、キャッチャーをしています。週に2日練習を行い、年間7~8回行われる県内外の試合にも参加。「友達が辞めるまで自分も続けたい」と笑顔で話してくれました。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



メーカーから説明を受ける来場者ら

1 南国市地域

今年も電化ショー開催

6月1・2日の2日間、土長地区本部(旧JA南国市本部)で電化ショーを開催しました。今年で14回目を迎えるこのイベントは、昨年度まで旧JA南国市のみで行ってききましたが、JA高知県の発足に伴い、今年度は長岡地区と十市地区も参加。2日間で約600人が来場しました。

会場は2階と3階に分かれ、電化製品を販売する3階には、テレビやエアコン、調理家電など幅広い品揃えの家電が並び、来場者はメーカーから説明を受

けながら会場内を見て回りまし た。中には、血管年齢測定や機械を使ったマッサージなどの体験コーナーもあり、興味深そうに体験する方もいました。また、2階では洋服や靴、化粧品などを販売しました。

駐車場では、女性部南国市地区が出店。焼きそば、たこ焼き、タケノコ寿司、餅、野菜などが販売され、多くの人で賑わいました。



泥に足を取られながらも、元気に田植えをする児童ら

2 れいほく地域

稲作体験学習

大豊町立おとよ小学校5年生は5月9日、大豊町大杉地区で農業を営む前田光盛さんの水田で、田植えを体験しました。

同校では総合学習の一環で毎年米作りを体験。社会科学習と結び付けることで農業や稲作の歴史や文化への理解を促し、農業体験を通じて地域住民とのつながりを深めています。

当日はあいにくの天候で、児童らは泥に足を取られながらも、「黄金錦」の苗を慣れな

い手つきで植えていきました。JA職員や嶺北農業改良普及所の関係者も協力し、3アールの水田を1時間ほどかけて作業しました。作業後、前田さんから「雨の中、最後まで一生懸命田植えをしてくれてありがとうございます」と、児童に向けて感謝の言葉をかけました。

今後は、7月に草取り、10月に稲刈りや籾すりなどの作業も体験し、水稲栽培について知識の向上を図る予定です。

3 れいほく地域

ゼンマイ集荷始まる



出荷されるゼンマイの品質や規格を丁寧に確認します

5月に入り、乾燥ゼンマイの受け込みが始まりました。JAへの持ち込みや、庭先集荷に担当職員が対応しています。

丁寧に収穫・選別して出荷された乾燥ゼンマイは、JA担当者が真剣な眼差しで規格や品質について確認。その後、乾物問屋や加工業者を通し、学校給食等の食材として県内外へ流通されます。土佐町内に1ヘクタールのゼンマイ山を所有する窪内弘さんは、「今年の出来は平年と比べ、収量は少ない傾向にある」と話していました。

4 南国市地域

ごとおち市感謝イベントでショウガのプレゼント



店頭で貯金キャンペーンの案内も行いました

JA直販所「ごとおち市」は5月25日、利用者向けの感謝イベントを開き、地域住民らが来店し賑わいました。

イベントでは、地域住民らに日頃の感謝を込めて地元の新ショウガをプレゼント。お買い上げいただいた来店者に特産品等が当たるくじ引き抽選会も実施しました。また、今年は共済の相談窓口も設け、来店者からの相談に応じました。

直販所を担当する小笠原創さんは「十市産の農産物を広く知ってもらおうきっかけになれば」と話しました。

5 南国市地域

農林水産大臣ハウス視察



次世代ハウスを視察する吉川農相(右から2番目)

吉川貴盛農相が5月20日、JA出資農業生産法人(株)南国スタイルの次世代ハウスを訪れ、中村文隆専務からパブリカ栽培について聞き取りました。

オランダと日本の施設栽培の技術を融合させて確立した次世代型ハウスについて、中村専務は「すでに高知の技術は限界を突破していたが、融合させたことで更に収量が向上した」と説明。吉川農相は、天敵昆虫を用いた環境保全型農業の取り組みにも触れ、「高知県の農業はレベルが高い」と感心した様子でした。

6 れいほく地域

米ナス試食宣伝イベント



店頭で試食を振る舞い、米ナスをPRしました

5月25日、高知市高須の「ナンコクスーパー高須店」にて米ナスの試食宣伝イベントを開催しました。当日は(株)高知青果市場の協力のもと、JA職員とれいほく園芸部の米ナス生産者が店頭に立ち、「米ナスのたたき」をお客さんに振る舞いました。

たたきは、一口大にカットした米ナスを水に浸し、電子レンジで加熱させてネギとショウガをのせ、ポン酢をかけるシンプルな調理。レシピも手渡しながらPRしました。

えいのう〜



れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課
088718212803

安心安全な青果物を 出荷するために

7月から夏秋野菜の出荷量は増加します。それと同時に、出荷先では腐敗や異物混入といった事故の発生も懸念されています。事故を起こさないためにも、出荷時の注意点を再確認しましょう。



れいほく営農経済センター
営農販売課
筒井 正人

◆農薬事故対策

農薬使用時には、ラベルに記載された使用基準（登録作物名、希釈倍率、使用時期、使用回数など）を必ず確認します。出荷の際には、防除履歴への記入を徹底しましょう。

◆腐敗事故対策

- 1 整枝・換気
枝が混みあっていると湿度が上がリ、病気が広がりやすくなります。通気や採光を確保するために、整枝・摘葉を行います。また、換気を促すために、ハウスのサイドや妻面を開口します。循環扇があるハウスでは、循環扇で空気の流れを作りましょう。夕方、開口部を閉めざる場合には、熱がこもらないように注意しましょう。
- 2 清潔なほ場づくり
摘果した不良果をそのままにしておく

◆異物混入防止対策

収穫に使用するハサミやコンテナは清潔に保ち、置き場所を決めて管理します。また、収穫物の上には新聞紙等を被せ、異物混入を防ぎます。



南国市地域より

キュウリの 黄化エソ病対策

キュウリなどのウリ科野菜では、黄化エソ病（MSV）が依然として猛威を振るっています。



南国営農経済センター
営農指導課
宮崎 晃一郎

この黄化エソ病はアザミウマ類によって媒介され、このアザミウマ類をいかに防除するかが防除のポイントとなります。とりわけ、育苗期から定植期にかけてはウィルスを媒介するアザミウマ類の多発期と重なるうえに、苗床から本圃への移動時など、接触の機会が多いので、特段の注意が必要です。

また、ほ場へのアザミウマ類の侵入防止策を徹底することが大切です。

ハウスにおけるアザミウマ類防除の基本は、「アザミウマ類を侵入させない（持込まない）」「増殖させない」という2点にあります。

○ハウスの開口部には防虫ネットを張り、周囲には黄色粘着シート等を設置しましょう。

○ほ場周辺に生える雑草もウィルスに感染することが最近分かってきました。周辺の雑草防除を徹底しましょう。

○育苗後半期から定植日に灌注することにより、アザミウマ類その他を防除できる薬剤があります（ヘリマークSC）。定植5日程度前に苗に灌注することで、苗床からの持込み、運搬中の感染を防ぐことができます。

○万一、感染株を発見したら、すぐに除去し、ほ場内での蔓延を防ぎましょう。

詳細については営農指導課まで。

南国営農経済センター 営農指導課
088186312415

南国市地域より

サヤインゲンの栽培準備



南国営農経済センター
営農指導課
森 圭吾

◆栽培適期

インゲンは比較的冷涼な気候を好む植物です。発芽適温は20〜23℃で、生育適温は15〜25℃、20℃前後が最も適します。播種適期は、夏まきで7月下旬〜8月中旬となっています。

◆ほ場の準備

耕土が深く湿度を適切に保てるよう耕耘は深く行います。は種日の1カ月前に完熟堆肥を3t/10アール、苦土石灰を200kg/10アールを全面散布し、よく混和しておきます。元肥は、は種二週間程度前を目安に窒素成分で3〜4kg/10アールを目安として施用します。

◆播種

つるあり種は、畦幅90cm、株間40cm程度の1条植えとし、1カ所に2粒ずつまきます。つるなし種は、畦幅120cm、株間30cm程度の2条植えとし、1カ所に4粒ずつまきます。覆土は種子の厚さの2〜3倍とします。

◆間引き

本葉2枚のころ、つるあり種は1カ所1本に、つるなし種は1カ所2本になるよう間引きします。欠株がある場合は早めに補植しましょう。

◆支柱立て

つるあり種、つるなし種ともに、倒伏しないように支柱等を立てて誘引します。つるあり種はつるの長さが2〜3mになるので、支柱の間にネットを張ってつるを誘引します。つるなし種も倒伏を防ぐため、短い支柱を立て、マイカー線などの紐で誘引します。

◆追肥

追肥は開花始めの頃をめどに、窒素成分で2kg/10アールを目安として施用します。つるあり種は、収穫期間が長いので15〜20日おきに2〜3回、つるなし種は1〜2回追肥を行います。

◆病虫害防除

○立ち枯れ病

発病部に単黄色や赤色のカビを生じます。主に地際部の茎が褐色になって腐敗し、そこが細くくびれます。そのため、苗はすぐに倒れて枯れてしまします。定植後は下葉が黄化し、やがてしおれが拡大し、枯死します。

○オトウムシ類

孵化幼虫は集団で葉裏から葉を食害します。表皮を残して食べるため、卵塊が産みつけられた葉やその周辺の葉が白変します。幼虫は発育するにつれ分散し、3〜4齢の中齢幼虫になると表皮を残さず食



害するようになり、葉が食い破られた状態になります。5〜6齢の老齢幼虫になると食害量が増え、葉柄や太い主脈だけを残して葉を食害します。

○アブラムシ類

開花、結実の時期になると、急激に発生が増加し、とくに、若い茎、莢、花、幼葉に群生します。養分を吸収するので、生育が止まり、先端部が萎縮、奇形を呈し、莢の生育が不良になります。発生がいちじるしく多いと、株やサヤが枯死します。

農薬は、登録内容をよく確認し、使用薬剤や濃度、使用量、使用回数を守って使用しましょう。

南国営農経済センター 営農指導課
088186312415

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

食の安全、各地区での栽培作物への取り組み、今後とも各地区の情報をお願い致します。

（十市支所・37歳）

▼各地区の情報、気になりますよね。広報誌「こうぐり」ではもちろんのこと、JA高知県のHPからも県内全地域の情報がご覧になれますので、閲覧してみてください。

女性部南国市地区のしゅうゆ加工。国産材料で手作り、毎日手入れをしながら8カ月も熟成させるとは……。どこで手に入るのでしょうか？

（れいほく支所・63歳）

▼女性部南国市地区の手作り醤油は販売しておらず、部員さんの自己消費を目的に作っています。

イベント等の情報をたくさん知りたいと思います。

（長岡支所・70歳）

▼イベント情報があるとお出かけの際に役に立ちますよね。土長地区内のイベント情報は「こうぐり」の「みんなのひろば」に一部記載しています。

こうぐりを参考にしながら家庭菜園でナスを植えました。無事収穫できましたら、ナスのたたきを作ってみたいと思います。毎月のレシピが楽しみです。

（れいほく支所・67歳）

▼こうぐりを家庭菜園にも調理にも参考にして頂けてとても嬉しいです。ナスのたたきの感想、お待ちしております。

あぐり食堂行ってみたいです！行列だったので諦めました。今週にでも母と行ってみます！

（南国中央支所・35歳）

▼あぐり食堂は、新鮮で安全な野菜を使って、女性部の皆さんが朝早くから調理しています。お時間があるときにいつでもいらしてください。

スイカ大好き！キラ坊すいか当たりますように！

（岡豊支所・72歳）

▼「キラ坊すいか」とっても大きくて美味しそうですね。糖度が高い品種のようですが、塩をふりかけるとさらに甘さが引き立って美味しいですよ。

組合員課より 直販店「かざぐるま市」 新規加入者募集

JA高知県南国市直販店「かざぐるま市」は、10月中旬頃から農産物と加工品（惣菜や菓子など）を出荷できる方を募集します。各支所に申込書を置いてありますので、希望者はお近くの支所までお申し込みください。

なお、申込みがあった方には後日加入説明会と生産履歴記帳講習会の日程をお知らせします。

※説明会、講習会に参加できない方は加入できません。

資格

JA高知県女性部南国市地区女性部員

募集品

野菜、花き、加工品、手芸品

募集期間

7月～8月末まで

お問い合わせ先

南国営農経済センター組合員課
担当：楠瀬（TEL088-863-2416）

購買課より 令和元年度種バレイショ予約

元年度種バレイショの予約とりまとめを致します。お申し込みは、最寄りの支所、担当営農渉外職員、または南国営農経済センター資材店舗までお願いします。

申込期限

令和元年7月26日（金）

予定産地	品種
北海道	男爵
	メークイン
	キタアカリ
長野	デジマ
長崎	デジマ二化性

お問い合わせ先

南国営農経済センター資材店舗（TEL088-863-5788）

※天候不順などにより予約数量を確保できない場合があります。全量確保できない場合は、代替対応、もしくは数量を調整させていただきます。ご協力をお願い致します。

購買課より新米予約注文受付中！

管内の生産者が丹精込めて作ったコシヒカリを100%フレッシュパックしました。いち早く皆様の食卓に新鮮な美味しさをお届けします。

◎南国市管内の新米コシヒカリ100% 5kg、10kg、玄米30kg

※5kg、10kgは旧JA南国市オリジナルオナガドリの袋に入っています。

※発送は8月中旬～下旬予定です。

予約締切

令和元年7月23日（火）

お問い合わせ先

お近くの支所または南国営農経済センター購買課（TEL088-863-2413）まで。